

空飛ぶ宝石 ーカワセミー

園内の池の周辺を歩いて行くと、時々青く輝く小さな鳥が飛び立つところに出会い、その美しさに一瞬はっとさせられます。「カワセミ」です。漢字で書くと「翡翠」、宝石の一種の「ヒスイ」と同じ漢字です。ブッポウソウ目カワセミ科に属し、体の割に長くくちばしを持っており、魚を捕まえることが得意な鳥です。大きさは17cmぐらいで、スズメとだいたい同じですが、くちばしが長い分大きいです。背中が光り輝くエメラルドグリーンで、頭に鱗のような模様があり、頬と同じ青色。喉と耳のあたりが白く、胸と腹と目の下側が橙色。足は赤く、とってもカラフルで何度も見たくなる野鳥です。

池のほとりの枝に止まって、ジッと水面を見つめているかと思うと、突然ものすごい速さで一直線に水中に飛び込み、一瞬のうちに魚を捕らえて枝に戻ります。わずか1～2秒の出来事です。とにかく巧みに魚を捕らえるので、カワセミは「魚狗」「水狗」「魚虎」「魚師」という漢字表現もあるくらいです。

冬期は木々の葉っぱが落ち見通しが良くなり、バードウォッチングに適した季節となります。他にもたくさんの小鳥たちに出会えます。ぜひ陶史の森へお越しください。



水面を見つめるカワセミ



9月16日(土)に「陶史の森まつり」を開催しました。ネイチャーセンター前の芝生広場で開いた昆虫教室では、講師の先生と一緒に森に出かけて、昆虫の特徴や習性などの説明を聞きながら、トンボやチョウ、バッタなどの昆虫を見つけ、自然に親しみました。また、陶史の森で飼育している羊の毛を使ったマスコットづくりには、参加した親子連れの皆さんに思い思いの可愛いマスコットを作っていただきました。

森の日記 / 9月16日(土)
陶史の森まつり

教室のご案内

バードウォッチング (自由参加)

11月26日(日) 午前9時～11時
晩秋の野鳥を観察します。

12月17日(日) 午前9時～11時
初冬の野鳥を観察します。

陶史の森ネイチャーセンター横、林泉の池堤防に集合してください。

※雨天の場合は、屋内で野鳥の学習会を行います。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。